

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	女 50代	乳癌 (肝機能異常)	8mg/kg 1日間 ↓ 6mg/kg× 1回/3週 165日間	<p>腫瘍崩壊症候群                      転移部位：肝，肺，骨，リンパ節                      再発部位：温存乳房（左）                      乳癌に対する前治療：なし</p> <p>投与開始日 転移・再発乳癌に対し，本剤，ベルツズマブ投与開始。                      投与1日後 嘔吐あり。その後，外泊。                      投与3日後 帰院。外泊中は食事摂取不良，嘔吐2回。                      帰院後に嘔吐1回認めた。</p> <p>投与4日後 (発現日) 本剤投与後，速やかに腫瘍は縮小。これに伴って一過性の高K血症，肝酵素上昇を認めた。                      腫瘍崩壊症候群(TLS)発現。高K(7.0mmol/L)，低Ca(7.3mg/dL)，高P(6.2mg/dL)，Cre上昇(1.21mg/dL)を認めたため，グルコース・インスリン(GI)療法や利尿剤(フロセミド，スピロノラクトン)等で対処。</p> <p>投与5日後 倦怠感持続。                      投与7日後 食欲改善。肝機能の悪化は投与7日後までにピークアウトし，これに伴い全身状態も次第に改善。</p> <p>投与8日後 GI終了。TLSは回復。                      投与21日後 2コース目投与開始。TLSは生じなかった。                      投与25日後 その後の投与でも腫瘍縮小はみられ，これにともなって黄疸，肝機能は改善。肝機能障害はグレード1に改善した。</p> <p>投与185日後 通院にて本剤およびベルツズマブの投与を継続中。</p>

臨床検査値

	投与 18日前	投与 1日前	投与 4日後	投与 4日後	投与 4日後	投与 4日後	投与 6日後	投与 6日後	投与 8日後	投与 10日後	投与 13日後
Ca (mg/dL)	9.0	9.3	7.3	7.3	-	-	-	7.8	7.4	7.5	7.6
尿 ビリルビン(定性)(-)	(+)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AST (GOT) (IU)	154	327	-	370	-	-	370	217	103	64	80
ALT (GPT) (IU)	94	114	-	233	-	-	233	180	132	92	96
LDH (IU)	479	627	-	1031	-	-	-	1056	659	578	472
Al-P (IU)	1321	1611	-	2460	-	-	3013	-	2901	2680	2326
γ-GTP (IU)	574	-	-	471	-	-	560	-	502	454	539
血清クレアチニン (mg/dL)	0.68	0.79	1.21	1.13	-	-	-	1.21	1.01	0.78	0.68
尿酸 (mg/dL)	5.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K (mmol/L)	4.1	4.3	7.0	-	6.9	6.4	-	6.8	5.8	5.0	5.8
P (mg/dL)	3.4	3.3	6.2	4.1	-	-	-	6.2	4.3	3.3	2.9
総ビリルビン (mg/dL)	2.5	11.6	-	14.7	-	-	17.9	-	16.0	11.4	7.8
CRP (mg/dL)	2.39	5.11	-	3.05	-	-	-	1.52	0.98	1.55	2.66

併用被疑薬：ベルツズマブ  
 併用薬：グラニセトロン塩酸塩，デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム